

平成31年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)

事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【愛知県海部郡蟹江町】
平成 31 年度に実施した取組の内容及び成果と課題
1. 事業の実施体制 当町委託事業先プレスクール指導者7人 お知らせ翻訳・説明会通訳等の外部協力者 5人
2. 具体の取組内容 実施項目：①不就学等の外国人の子供に係る学校等との連絡調整 ・10/16～10/30各小学校の就学時健康診断に立ち会い、外国人保護者の支援をし、小学校へ情報を伝達した。 ・3/7 小学校就学前説明会を開催、通訳を付け、学校へ行く準備に必要な事項を説明した。 ・1/28 須西小体験入学、2/6 新蟹江小学校チャレンジ教室支援 支援者各1人 対象児3人 ・3/7 小学校就学前説明会を開催 参加者:32人(対象児7家庭) 小学校へ行く準備に必要な様々な事柄の説明。通訳を付けて行う。 実施項目：②学校外における、不就学等の外国人の子供に対する日本語、教科若しくは母語指導又は学習習慣の確保に係る指導のための教室の開設 ・プレスクール・プレプレスクールを町内各保育所・幼稚園にて年長児/年中児の就学前指導実施 開催回数61回対象児：年長児5人、年中児9人 実施項目：④不就学等の外国人の子供に係る地域社会との交流の促進 ・①②を利用して、外国人保護者と、地域との交流の機会を作った。 保護者相互の連絡メール、ラインのやり取りをした。 ・外国人住民より情報を早期に得て、小中学校と共有することができた。 実施項目：⑥その他不就学等の外国人の子供の就学の促進に資する地域独自の取組 ・保育所以外の私立幼稚園に通っている外国人の子どもも対象にプレプレスクールを実施した。 ・未就園の子ども情報、年度途中の転入児の情報を小学校等関係各所と協力して、入手、交換し、就学の促進に努めた。プレスクール参加外の子どもたちも、3/7の小学校就学前説明会へ参加を促した。 ・3/7の小学校就学前説明会で、子ども同士の交流を期待して「子どもコーナー」を設置した。

3. 成果と課題

実施事項①: 小学校が、外国人の子どもの家庭状況、言語状況などを早期に知ることができ、日本語指導の必要性の有無、家庭との連絡方法(言語)などを入学前に把握することができる。外国人保護者と小学校の信頼関係を築くことに貢献できた。

外国人保護者の小学校入学への不安を軽減し、子どもが就学を楽しみにすることができた。

実施事項②: 「ひらがなたんけんたい」「ひらがなカード」等、当団体オリジナル教材を使って、町内保育所、幼稚園において年長児、年中児の就学前指導をした。

- ・ 前述のオリジナル教材を使って、保護者の母語にも子どもが興味を持つ機会を促した。

実施事項④: ①②を利用し、外国人保護者同士のネットワーク、地域とのネットワーク作りができ、外国人保護者が積極的に地域とかかわることを促し、支援体制が構築された。不就学や突然の来日による、子どもたちの取りこぼしのないよう努めたい。

実施事項⑥: 保育所、幼稚園等に未就園の外国人家庭の子どもの情報把握により、就学を促し、地域で孤立せず積極的に交流していく姿勢を促すことができる。

- ・ 子どもコーナーの設置効果で、子ども同士、町内で遭遇するチャンスがあり、親しみを込めて挨拶ができた。小中学生の「夏休み宿題教室」参加に繋がっている。

4. その他（今後の取組等）

○今後の課題と取り組み

- ・ 近年、ベトナムからの転入者が急増。また出身国、地域の多様化のため、的確な通訳、翻訳ができる人材確保に努める。
- ・ プレ・プレブレスクールの少人数・個別指導により課題の見極め、保育所との連携、その後の小学校での指導につなげていく。
- ・ 途中転入の情報の共有、個人情報の取り扱いに注意をする。
- ・ 外国人保護者同士のネットワーク、地域とのネットワーク作りの強化。
- ・ 多様な地域からの来日が見られるが、今までのネットワークと連携を継続する。
- ・ 町内にある私立幼稚園の外国人児童家族の情報共有をする。
- ・ 小学校就学前説明会の実施により、小中学生の「夏休み宿題教室」の参加に繋げていく。
- ・ 「プレスクール指導者養成講座」を2016～2018年まで開催したが、修了生の定着が安定しないため養成講座の再開を希望したい。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。)成果物等があれば別途提出すること。